

コミュニティ静岡

あなたのまちの
コミュニティ活動情報誌

2014

1月

No.133



写真に収めきれない長〜い巻き寿司

笑顔でつなげる巻き寿司づくり

萩間公民館（牧之原市）

▼地域の子どもたちからお年寄りまでが自由に参加し、協力して一つのものを作り上げる喜びを分かち合うため、「巻き寿司をみんなの笑顔でつなげよう」を合言葉に3年前から始めた。

▼48脚の机の前に総勢200人が一列に並び、用意した巻きすの上に酢飯、具材を順にのせ、合図とともにそろって巻き、巻きすを開いた後、全員が心を合わせて持ち上げた。

1年目は18m、2年目は35m、今回は一気に80mとなり、歓喜と拍手が止まらなかった。その後、巻き寿司を切り、それぞれ家に持ち帰りおいしくいただいた。

▼前日までの材料の準備とともに、当日早朝からの酢飯づくり、牧之原市ふるさと教室の子どもと中学生によるキュウリや玉子の短冊切り、シイタケ、でんぷ、かんぴょうの準備など、大勢の人たちの協力があった。

そして、巻き寿司に取りかかる前には、念入りに説明が行われた。持ち上げる時間はわずかだが、子どもからお年寄りまで参加者の心が一つになった瞬間だった。

◇代表：坪池 洋さん（問合せ・0548-54-0540）

【情報提供・大石通之】

Contents No.133

各地の活動	● 牧之原市	1
活動賞審査結果	● 平成25年度「コミュニティ活動賞」審査結果紹介	2~3
各地の活動	● 東伊豆町・県東部・富士宮市・島田市・磐田市	4~5
地域訪問記	● 手作り「時計台広場」ができたよ（御殿場市）	6
	● 喜ぶ顔が活力源！ふれあいコスモス祭り（御前崎市）	7
コミ推協から	● コミュニティ・フォーラム2014のお知らせ、他	8



コミック
のりつき・りえ

平成25年度「コミュニティ活動賞」

優秀賞受賞
4団体の紹介

静岡県コミュニティづくり推進協議会主催の本年度「コミュニティ活動賞」は、ここで紹介する優秀賞4団体ほか、別表のとおりとなった。

自立した地域、活力ある地域づくりを目指す！

特定非営利活動法人 フロンティア清沢（静岡市）

静岡市の中心街から北へ約15kmにある清沢地区は、過疎化などに悩む中山間地域である。そうした地域問題解決をめざして昭和58年に「清沢を考える会」が設立され、さまざまな活動を展開してきたが、平成15年に法人格を取得し、改めて問題解決をめざすとともに、交流拠点施設「きよさわ里の駅」の運営や各種イベントを実施している。

過疎地有償運送事業「やまびこ号」の運行、各種の環境保全活動、婚活（年4回実施）、きよさわ合唱団の創設、都市と農村交流事業、東日本大震災支援事業など、たいへん多くの事業を展開し、地域の信頼と協力を得ながら、農林業生産面、生活面、交流面などさまざまな分野の課題解決を図っている。

地域コミュニティの活性化に寄与している数々の取組みは、過疎化などに悩む中山間地域におけるモデル的な事例として高く評価された。



棚田の再生活動

遊び心を持って気軽に河川環境美化活動

瀬戸川を愛する会（焼津市）

焼津市を流れる瀬戸川の下流域を活動の場に、遊び心を持ちながら気軽に川の環境美化活動を実践したり、周辺住民の親子・家族を対象に「瀬戸川で遊ぼう」、「バードウォッチングハイキングと芋煮会」など、川と親しむ楽しい遊びの場を提供している。

こうした活動を継続的に行うことで、見知らぬ住民同士が顔見知りとなり、ふれ合いの場となり、定年後の気ままに地域活動をしたい人たちの受け皿的組織にもなっているという。瀬戸川堤防の樹木に樹名板を設置し、堤防を散策する人たちに河川への関心が高まるよう努めている。

この会の活動を通じて色々な交流が生まれ、地域の連携が深まり、地域に愛着を持つ人が増えているという。しかし何より、活動している人たちがアイデアを出しあい、楽しく、無理をせずに続けていることが素晴らしい。



瀬戸川河原のクリーン作戦

審査総評

（伊藤光造審査委員長）

本年度は13市町から19団体の応募がありました。特に自治会や、地区内のテーマ型団体、NPOなどさまざまあったこと、活動の期間・分野・規模もさまざまであったことなどが特徴といえます。昨今のコミュニティに関わる住民意識の多様化や、協働など新たな活動スタイルの浸透などを背景に、活動のあり方も多様になってきている結果と思われまふ。

結果は別掲のとおり、優秀賞4団体、優良賞8団体、奨励賞7団体となりました。しかし、どの団体も活動のレベルが高く、審査はかなり難しかったという印象です。

審査方法は、あらかじめ各委員が応募資料をもとに事前評価を行い、審査会での評価を審議し、各賞を決定いたしました。各委員から、審査基準である地域性・主体性・普遍性・発展性・独創性に加え、世代間交流、環境への配慮、地域との関わり、他団体との関わりなどが重要という指摘もありました。

優秀賞は、「特定非営利活動法人フロンティア清沢」など4団体はいずれも地域の中でたいへん充実した活動を実施されており、地域の価値を相当に高めるレベルで活動を展開している点が評価されました。優良賞8団体は、それぞれの分野、局面で頑張った貴重な成果を生み出されている点が評価されました。特に「富士市花の会」は、長年にわたり活動を継続されていることに敬意を表すべきという意見もありました。

奨励賞は、それぞれ地域にとって基本となる活動やユニークな活動があり、今後是非活動の展開を期待したいものばかりでした。いずれの団体も、この賞をひとつの励みに、今後の活動展開に活かしていただけたこと、本年の応募団体以外の団体も、ぜひこれらの活動を参考に活動されたいです。この賞に応募いただけたら幸いです。

地域の子供は地域で育む

コミカレ・ねっとわーく吉田（吉田町）

吉田町教育委員会の推薦を受けて「コミュニティカレッジ」を受講し、修了後「コミカレ・ねっとわーく吉田」の一員となって活動をしている。活動は教育委員会と連携をしながら「地域の子どもは地域で育む」ことを目標に取り組んでいる。

ジャガイモ・玉ねぎの収穫体験、さつまいものツルさし体験、各地域での通学合宿、フラワーロード植え付け（夏・秋）、地引網、七夕の飾り付け、きもだめし、ふるさと探検ウォーク、昔のあそび体験など児童を対象にした活動を数多く実施するとともに、月2回自治会館で活動する「放課後わくわく教室」も地域教育の推進活動として小学生を対象に行っている。また、吉田公園花壇の花植えや地区フラワーロード（道路花壇）の花植えをNPOやボランティア団体と共同で行うなど、自治会、子ども会、その他のボランティア団体をまとめる中心となり、活動を円滑に進めるとともに、まさに吉田町内の地域貢献活動の一翼を担う、心強いグループとなっている。



通学合宿の一コマ

地域ぐるみでホタルの保護・育成活動

上垂木ホタルを守る会（掛川市）

平成12年、掛川市の中心から北へ約8kmの山間地上垂木地区の小川にゲンジボタルの乱舞が見られた。翌年当時の区の役員が協議し、「上垂木ホタルを守る会」を立ち上げ、ゲンジボタルの保護活動に取り組んできた。現在県下に誇るゲンジボタルの名所となっている。

会ではホタルの養殖を行い、毎年3月に3000～5000匹の幼虫の放流会を、5月中旬にはホタル観賞河川の危険箇所のロープ張り、案内表示、草刈りなどの整備作業を行う。ホタル観賞会は5月20日ころから6月10日ころまで観賞適地に事務所を設け、観賞者の案内、説明などを毎年実施している。

会では、青少年健全育成を考え子どもたちに自然のよさを体感させる、ホタルの保護活動を通し自然環境モデル地域として発信するなどの目標を立てている。

同地区に自然発生してきたゲンジボタルの保護育成に地域ぐるみで取り組み、自然環境保全に大きく貢献し、特に子どもたちに自然の大切さを学ばせる取り組みは市民活動として高く評価される。



ホタルの幼虫放流会

審査結果

優秀賞

特定非営利活動法人 フロンティア清沢
瀬戸川を愛する会

静岡市
焼津市

コミカレ・ねっとわーく吉田
上垂木ホタルを守る会

吉田町
掛川市

優良賞

仁科地区まちづくり協議会

西伊豆町

第二地区コミュニティ推進委員会

沼津市

特定非営利活動法人 富士の麓・水と緑と風の会

御殿場市

富士市花の会

富士市

特定非営利活動法人 しずおか環境教育研究会

静岡市

朝比奈粽保存会

藤枝市

花と芝生を守る会

牧之原市

桜御前研究会

森町

奨励賞

熱海市上多賀地区地域福祉推進会

熱海市

中石田自治会

沼津市

志多町自治会

沼津市

中島燈籠保存会

焼津市

大井川「月の沙漠」保存会

焼津市

ふじえた生涯学習チャレンジャー

藤枝市

コミセン男の料理教室

菊川市

まちから・むらから

●東伊豆町



スキイベントでのガイド風景

稲取大好き人間の“あるものさがし” こらっしゅー稲取大作戦

▼稲取大好きなよそ者、バカ者、若者 60 人のメンバーが、プロジェクト「こらっしゅー稲取大作戦」を立ち上げ、稲取にあるものを探し出し、商品化し、外に向けて情報発信してまちの活性化を図っている。

▼すでに、「おもしろ屋号町巡り」、「カニの引っこくり（磯でのカニ取り）」などの稲取温泉を丸ごと感じる 30 余の体験ツアーを商品として提供し、町、観光協会、住民の協働による誘客のための取組が行われている。その中で、6 年前から始めた「稲取細野高原スキイベント」は、東伊豆町あがての 2 万人イベントとして、

大勢の町民が関わって実施している。

細野高原は、200 ヘクタールの広さで稲取温泉の背後地にあり、相模灘、伊豆七島を望み、その草原は秋になると一面の銀世界、スキの大きなうねりは見る者を飽きさせない。

▼こらっしゅー稲取大作戦では、商品化すると観光協会や町に移管し、次なる“ふると再発見”に向けて動きだしている。



地元の人しか行かない場所だった

◇代表：渡辺健司さん（問合せ・☎ 0557-95-2500）
【情報提供・鈴木邦夫】

●県東部

東北復興ボランティア

コミカレ・ねっとわーく東部

▼平成 25 年 9 月 28 日～30 日にかけて、コミカレ・ねっとわーく東部の会員 22 人が「東北の復興を願い現在の状況を冷静に見る」、「東部支部の会員の絆を強くし、さらなる活動に結ぶ」を目的に岩手県大槌町へ向かった。

▼28 日 19 時に沼津駅を出発し早朝に大槌町に着く。朝食、身支度を済ませ 1 班はまごころの郷で草取りと農園整備。2 班は安渡分館にて絵画療法コーラージュによるカウンセリングと安渡地区防災訓練を視察。その後、安渡分館にて関館長から震災のビデオを用いた講話をいただき、津波の恐ろしさ、人の世のはかなさ、生きることの大切さを学ぶ。2 日目は中尊寺を見学し、その後帰路に着いた。

お会いした人々の笑顔に接し、ボランティアを続け

ることの大切さを知り、活動の喜びを改めて感ずることができた。行程の全てが研修だった。

▼出来ることを出来るままにの自然体で、一昨年の県コミ推協震災ボランティア、昨年の夢倶楽部復興ボランティアに続き 3 年連続大槌町を訪れた。

▼2 泊 2 日の強行軍だったが、出会い・ふれあい・分かち合いを実践したことによって、さまざまな思いと連帯感を生むことができた活動だった。

◇代表：沓間 捷さん（問合せ・☎ 0550-87-1585）
【情報提供・大嶋繁幸】



雑草防止のため石を敷きつめた

●富士宮市



老人福祉施設を訪れたメンバー

豊かな人材を巻き込み交流の場を広げる コミカレ・ねっとわーく富士宮

を支援する催しを開催した。

▼昨年コミねっと富士宮のボランティア活動として、老人福祉施設で年に 2 回程交流を図ってきたが、今回は児童館の利用者も交流対象に広げた。コミねっと富士宮のネットワークを利用し、小学生コーラグループや老人福祉施設慰問で知り合ったマジシャン、レクリエーションインストラクターなどの身近な人材

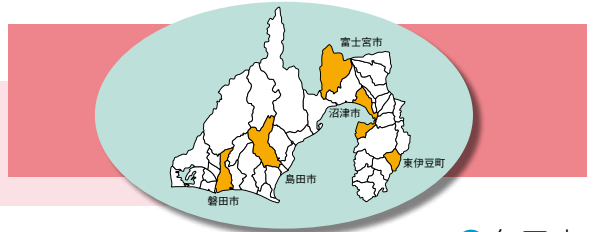
を巻きこみ内容の充実を図った。まずは、手遊びと童謡に合わせた体操で参加者の緊張をとき、次に小学生コーラスと一緒に唱歌を歌い、最後に鳩が飛び出すマジックショーで普段の児童館とは一味違う遊びを楽しんでもらった。

▼コミねっと富士宮としての活動は始めたばかり。会員は 14 人、実際に動ける人は少ないという状況だが、「少ないながらもコミねっとのネットワークを生かし長く活動を行いたい！」と鈴木代表は言う。

◇代表：鈴木 博さん（問合せ・☎ 0544-27-3553）
【情報提供・木村洋一】

各地の活動

各地の活動情報



● 島田市



初倉コミねっこの朗読劇

さらなる活性化！第28回初倉まつり 初倉コミュニティ委員会

▼初倉地区（4,000世帯13,000人）では、さらなる活性化のために、初倉コミュニティ委員会と市商工会の共催による初倉まつりを開催している。

▼初倉公民館くららで文化展と芸能大会を催し、当日は、あいにくの雨であったが約3,500人の地域住民が参加し大盛況だった。文化展には、個人や団体の作品が展示され、芸能大会では、幼児の太鼓や小学生の三味線演奏が会場を盛り上げ、一時は人が入りきれなくなる事態となった。また、昨年からはじめた文化展参加者が講師となり、折り紙や粘土工芸などを教える体験

コーナーもにぎわった。その他、初倉コミカレ・ねっとわーくの会員が、オレオレ詐欺撲滅の寸劇を披露し注意を呼び掛けた。

▼委員会では、初倉まつりをはじめ、全ての行事（納涼大会、区民体育祭、駅伝大会）の計画立案から運営までを任期1年の委員が行っている。分からないことからのスタートだが、本部役員のサポートや8つの部会の連携、各委員の手際の良さから安心して当日を迎えることができると代表は言う。

それぞれの行事の大変さもあるが、終わった後の達成感はひとしおである。

◇代表：高橋剛男さん（問合せ・☎090-9198-4329）

【情報提供・富永弘子】

● 磐田市

地域で祝う七五三祝賀会

磐田市立大藤公民館

▼大藤地区では、地域の宝である子どもたちの七五三を地域の皆さんで祝う祝賀会が続いている。婦人会の組織が熱心に活動していた頃、冠婚葬祭が年々派手になっていたことから、その歯止めをかけようとした行事の一つに七五三があった。

その頃、地域に公民館ができたので、園服姿の幼稚園児を招いて七五三祝賀会を催したことから始まった。30年以上の長い歴史があることから、親子二代で参加している家族もいる。

▼今年の祝賀会も、自治会長、公民館長、園長、PTA会長の皆さんから祝辞をいただいた後、腹話術のアトラクションを楽しんだ。子どもたちは、「あいちゃん人形」と「けいちゃん」の掛け合いに引き込まれ、一緒にせりふを言ったり、歌ったり笑い声があふれる会場だった。また、昔の子どもの遊び「あんたがたどこさ…」

のまりつきを見るなど、楽しいひと時を過ごした。

▼最後に全園児71人が千歳飴をいただいた祝賀会は終了した。

この祝賀会には、七五三の対象でない園児も祝賀会に参加できるため、年長組の園児は3回楽しむことになる。



楽しい祝賀会



あいちゃん人形

◇代表：伊藤滋朗（問合せ・☎0538-38-0371）

【情報提供・森岡たか子】

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます（アドレス <http://www.sizcom.jp>）

No	市町	活動名	主催者	月日	場所
1	伊豆の国市	寺院の祭りで地域ににぎわいを	本立寺護持会 万灯講	平成25年10月12日(土)	葦山地域中心部（江川邸周辺地域）
2	三島市	ハロウィン・パレードinみしま2013	三島大通り商店街まつり実行委員会	平成25年10月27日(日)	三島大通り商店街
3	富士市	横割八幡神社例大祭	氏子総代会	平成25年10月5日(土)	横割八幡神社境内
4	富士市	楽しく吹こう！吹奏楽	富士川ウインドアンサンブル	毎月第1、3日曜日	富士市富士川地区
5	島田市	2013 SLフェスタinかなや	SLフェスタinかなや実行委員会	平成25年10月13日(日)	金谷本通り路上、駐車場
6	吉田町	大人気！肝だめしと花火大会	コミカレ・ねっとわーく吉田	平成25年8月4日(日)	長源寺
7	掛川市	“歌のお姉さん”と慕われて	今村裕子さん	(毎月1～2回)	特養ホーム東海清風園、池新田ディサービスセンター(御前崎市)
8	菊川市	みなみやま会館まつり	みなみやま会館まつり実行委員会	平成25年11月3日(日) (毎年11月開催)	小笠南地区センター「みなみやま会館」
9	菊川市	ひらかわお菓子クラブ	ひらかわ会館	平成25年11月9日(土) (年3回程度)	地区コミュニティセンター「ひらかわ会館」

地域訪問記

手作り「時計台広場」ができたよ

町屋区活性化委員会（御殿場市）

御殿場市^{コウヤマ}神山町屋区は、雄大な富士山を西に望む丘陵にある。古くは、伊豆大仁から甲州へ海産物を運ぶ街道の宿場町、近年は道路網が整備され近隣には大きな企業が多い。町屋区は670世帯ほど、人口は増加傾向にあるが、人々の穏やかな声掛けが印象的な地区である。

▶ 自立した地域づくり

以前の地区活動は、行政主導型の縦割りの決まりきった活動となっていたため、区内での調整がうまくいかず、地域の課題に対応していないものが多かった。そこで、何とかして横のつながりを強くし、町屋のことは町屋の一つの輪の中で考え、常に情報を共有し話し合いにより地域の課題を解決していきたいと思っていた。平成22年に地域の事業や活動をすべて見直し、区長を中心に町屋区活性化委員会を立ち上げた。地区の現状に合わせ、文化・建設・福祉部会を組織し活動を始めると、区内の交流も盛んになっていった。10月に開催する「町屋区ふれあいまつり」は、さまざまな団体が趣向を凝らし18ものテントを張る。そのほかに中央公民館を拠点にして歌ごえ教室・絵手紙教室など住民の活動も行われている。

▶ 手作り広場、どこまで出来る？

今年、老人憩いの家の一部撤去により生じた空き地をどう利用するか、町屋区活性化委員会で検討をした。「区民が気軽に集える場所がほしいね」「ここには公園がないから、自分たちで作ろう」と一気に盛り上がり、憩いの広場部会が立ち上がった。東屋・花壇づくり、不安はあるがまずは計画から建設まで区民の手でやってみよう、と。



東屋に刻みを入れる作業

完成目標は9月。毎週火曜日、真夏も休むことなく延べ300人が参加して作業を続けた。5月、有志から提供のあった立派な檜の丸太をいきいき倶楽部（老人会）と力を合わせ運び入れ、東屋づくりに取り掛かった。一部はテーブルにベンチに仲間の手で加工された。通りかかる子どもたちの歓声や「ご苦労さん」の声掛けが嬉しい。「そうだ！時計をつけよう」仲間から声が上がった。ここは棟梁の腕の見せ所。赤い屋根のソーラー時計台は2つの時計と百合の絵を付けるとぐっと良くなった。ここで「憩いの広場」改め、「時計台広場」と命名した。時計は夜間ライトアップされ防犯にも役立つ。購入には地区の資源回

約半年かけ時計台広場が完成した



約半年かけ時計台広場が完成した

収の資金を充てた。並行して花の会といきいき倶楽部が工夫を凝らし花壇づくりを始めた。広場周辺のお宅の垣根の下にも花を植えプロムナードのようである。「出来るかな？」の不安は何処へやら、町屋のみんなの知恵と技が結集し町屋区ならではの手作り広場が10月22日に完成した。予定より1ヵ月延びたが、みんなのアイデアを追加したためだ。感無量である。お披露目は、翌日曜日の町屋区ふれあいまつりで行われ、大勢の区民で祝うことが出来た。時計台は富士山を背に自慢げに立っている。

▶ 町屋をより良くする方法

寄り道・井戸端会議・バーベキューで親睦会など、さりげなく人と人が関わる場所を地域の気づきのままに作る事が出来た。今後は、資源回収を促進し区内の整備を進めたいという。地域住民の憩いの場がまた1つ増えた。地域を元気にする、良くする方法はそこに暮らす人が一番よく知っている。



地域住民の憩いの場がまた1つ増えた

◇代表：武藤敏正さん（問合せ・☎0550-87-0028）

【情報提供・杏間 捷】



地域訪問記

喜ぶ顔が活力源! ふれあいコスモス祭り

～「感謝」そして10周年ありがとう～

朝比奈ふれあいの里倶楽部 (御前崎市)

♪お～いら岬の～灯台も～り～は～♪、ご年配の方ならよくご存じの映画「喜びも悲しみも幾歳月」のロケ地ともなった御前崎灯台から10km程内陸にある御前崎市朝比奈地区、浜岡原発も近い。平成11年、ここに地区住民有志で構成される「朝比奈ふれあいの里クラブ」が誕生した。現在の会員数は50人程であるが、農家を始め、水道、電気、建設、公務員など様々な職業の方の集まりで、かなりの事まで自前で賄えるのが強みだ。

同クラブの活動について、副会長の西原ひろみさんにお話を伺った。

会員相互のふれあいや、子どもたちの健全育成、地域環境の整備向上などを目的としたこのクラブが力を入れ取り組んでいるのは、「ふれあいコスモス祭り」である。もともとは休耕田の保護を目的として地主さんがコスモスを咲かせていたのをお手伝いするようになったのが始まりだ。

●ふれあいコスモス祭り

10回目となるこの祭りの今年のテーマは「感謝」。舞台は、4ヘクタール（東京ドームのグラウンド3面分）にも及ぶ広大なコスモス畑である。その中心にステージを作り、園児のお遊戯をはじめ、小学生から大人まで、歌や踊り、楽器演奏など盛り沢山のプログラムが繰り広げられ、最後に、池新田高校の自然科学部の生徒たちが中心となり、みんなでシャボン玉を飛ばし会場を盛り上げてくれた。

昨年は11月3日に開催し、遠くは千葉県、愛知県など地区内外から1,500人ほどが訪れてくれ、コスモスの可憐な花とイベントを楽しんでもらえた。

●自然との闘い



種蒔き風景

お借りしている田んぼは、現在稲作をしているため、以前と比べて種蒔きボランティア（コスモス咲かせ隊）募集などの事前の準備が難しい。その年の気候によって稲刈りの時期

が変わるからだ。つまり種蒔きの時期は自然任せとなる。そんなこともあって今年は、会員だけで約18kgの種を蒔くことになってしまった。

また、24年度は、ヨトウ虫という害虫にやられコスモスが全滅し非常に残念な思いをしたので、昨年は田んぼ



一面に咲き誇るコスモス

に残った稲ワラを焼き、殺虫剤を撒き、液肥まで施して見事リベンジした。

以前、コスモスの種を収穫したのだが、雑草の種も交じって収穫してしまい雑草が沢山生えてしまったことも今となっては笑い話だ。

●悩みの種

回を重ねるにつれ、期待されることも多くなり、期待



雑草を取り除く作業

に応えようとすれば、出費もかさむ。公民館などからの多少の補助と、土手の草刈りや、他所が主催するイベントへの出店などで多少の稼ぎはあるものの・・・資金面が大きな悩みの種だというのが、

種があってこそ花が咲く。これからも知恵と工夫でこの地区に花を咲かせ続けるに違いない。

◇代表：鈴木克巳さん（問合せ・☎0537-86-5926）

【情報提供・黒田典男】



レポート・三戸部孝編集委員



コミュニティ・フォーラム2014を開催

健康長寿日本一とコミュニティ活動

平成26年2月15日(土) 午前10時30分～午後3時30分
藤枝市生涯学習センター・ホール

午前の部

- ◇表彰式 コミュニティ活動賞
- ◇基調講演
「社会参加で健康長寿」

講師 藤田弓子氏
(女優、アマチュア劇団伊豆の国市附属劇団「いず夢」座長)



午後の部

- ◇パネルディスカッション
～健康長寿で生き生きとした地域社会へ～

●パネリスト

- 佐古伊康氏 【しずおか健康長寿財団理事長】
- 鍋倉伸子氏 【県コミュニティづくり推進協議会会長】
- 勝俣善久氏 【裾野市麦塚青年会代表】
- 渡村マイ氏 【SAC LABO 代表・着地型観光コーディネーター】

●コーディネーター

- 川口良子氏 【合同会社デザイン・アープ代表】

※参加には入場整理券が必要です。
※参加ご希望の方は事務局までどうぞ。
※昼食を希望される方は、800円で斡旋いたします。

問い合わせ、お申し込みは
静岡県コミュニティづくり推進協議会へ
電話 054-251-3585
FAX 054-250-8681

コミカレアフター研修会を開催しました

昨年10月11日、「いま、地域づくりに求められるもの」をテーマに、コミュニティカレッジ修了者や活動団体の方々、市町職員などを対象にした研修会を静岡市で開催した。

地域づくりに取り組む人や団体の活動を一層有効かつ活発なものとしていくため、地域が求めていることや、それに応えるための活動について、坂本光司先生の講義と、各地域で実践活動している団体の発表を通じて協議した。

《内容》

- (1) 基調講演 講師…坂本光司氏(法政大学大学院政策創造研究科教授・同大学静岡キャンパス長)
演題…「地域づくりに求められるもの」～ベストセラー「日本でいちばん大切にしたい会社」から地域を見ると～
- (2) 事例研究 コーディネーター…望月誠一郎氏(株)地域デザイン研究所所長
発表団体…熱海コミねっと(落書き防止活動)
コミねっと大平(休耕地を利用した住民いこいの場づくり)
コミねっと吉田(教育委員会と協働した子どもの育成活動)、
コミねっと御前崎(海岸美化活動とユニセフ募金活動)
遠州沖ちゃんクラブ(仲間とともに塩づくり)

編集・発行

静岡県コミュニティづくり推進協議会
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
総合社会福祉会館3階
TEL 054-251-3585
FAX 054-250-8681
URL <http://www.sizcom.jp>
E-mail sizucom0829@po.across.or.jp
※地域情報お寄せ下さい。



坂本教授



各活動を発表するコミねっと代表者